晴れの国にも冬の落とし穴

冬季特有の労災リスクに備えましょう

～気を抜かない。見落とさない。足元と運転から守る冬の安全。～

「岡山は雪が少ないから大丈夫」と思っていませんか。
冬季には、朝晩の冷え込みによる路面凍結や日没の早まりによる視認性の低下など、この時期ならではの危険が潜んでいます。転倒災害や仕事中の交通事故を防ぐため、冬のリスクをあらためて確認し、安全行動につなげましょう。

冬季に特に注意が必要な典型事例

「転 倒」





見慣れた場所にも
冬の落とし穴

「交通事故」

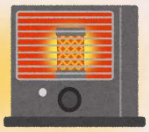




見落としやすい
夕暮れ時こそ慎重に

（裏面に続く）

冬季特有の労働災害リスクを下げるための対策



転倒防止！



こ ろばぬための 靴えらび



靴底の溝が減った靴は要注意！防滑性能が十分に発揮されません。

あ わてず歩いて 足元確認



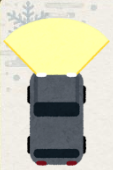
凍結箇所は日陰や建物の出入口付近にできやすいので注意！

ゆ とりを持って 早めの行動



時間に追われると転倒リスクが高まります。余裕を持った行動を。

は やめの点灯 事故防止



冬は日没が早まります。ライトは相手に「見せるため」にも有効です。

よ そみをしない 安全運転



薄暮時は歩行者や自転車の発見が遅れやすくなります。

じ かんに余裕で 慌てず運転



急発進・急ブレーキはスリップの原因になります。

交通事故防止！



晴れの国おかやまでも要注意！知っておきたい冬の安全豆知識



①気温はプラスでも路面は凍る！



晴れた朝は放射冷却で路面温度が下がり、気温が0℃以上でも凍結することがあります。

②冬の16時台は一気に暗くなる！



冬は日没が早く、16時台から急激に周囲が見えにくくなります。車の運転時には早めのライト点灯が重要です。

③見た目で分からぬ凍結路面！



薄暮時や夜間の凍結路面は濡れた路面との見分けが難しく、一見して乾いているように見えることもあります。

みんなで安全職場

SAFE Safer Action for Employees

岡山県内の労働災害発生状況 →

交通労働災害の防止について →